

## 第 351 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和元年 5 月 7 日 (火) 11:00～13:10
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Double Eyes  
[放送日時] 平成 31 年 4 月 30 日(火)11:30～14:55  
[出演者] ユーコ・タケダ
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康  
小野晃司 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
- [会社] 代表取締役社長兼会長 祐嶋繁一  
専務取締役 竹内照夫  
編成制作本部長兼編成制作部長 久保田克敏  
編成制作部制作担当部長 寺田和史  
編成制作部副部長 安原明子
5. 事務局報告
- 昨年度決算確定の件
  - 5/16 取締役会の件
  - radiko UU 数の件
6. 番組審議
- [対象番組] K-mix Double Eyes  
[放送日時] 平成 31 年 4 月 30 日(火)11:30～14:55  
[出演者] ユーコ・タケダ  
[番組内容] “ダイバーシティ”をテーマに、多様な価値観を考え  
学ぶ番組。

### [聴取・合評での主な意見]

- 小野委員 交換日記のようなコーナーは、DJ2 人のつなぎ企画として面白い。ニュー  
ーストピックの読が棒読みで、その後のフリートークが滑らかなだけ  
にもったいない。もう少しリスナーを大切にしてほしい。メールの返し  
が冷たい。断言するのはいかにも海外的だが、良い意味での曖昧さもあ  
ってよいのではないか。

- 加藤委員                   リスナーへの対応が素っ気ない。彼女をこの番組にどう馴染ませていくのかが課題だろう。13時以降の彼女は生き生きしている。やはりニュースの読みが気になる。原稿が長い。情報を読み上げて、それをどうするのか、そこにどう主観を交えるかが重要だと思う。
- 服部委員                   採り上げるニュースが、それぞれ長く、ここだけ悪目立ちしている。新茶の情報にしても、イベント紹介に終始してしまっている。一方エンタメコーナーはとても良かった。全体的に、彼女の意見や価値観が強く出ている。聴き易いが、特に午前中が早口だと思う。
- 角田委員                   1時間拝聴して「ダイバーシティ」は感じられなかった。例えば元号の話題で、アメリカではどう報じられているのか、など。日本と海外の立ち位置が中途半端。制作陣の工夫が必要。英会話コーナーでも、スペルを伝えるなど、もう少し優しさがあると良い。優しさと丁寧さが必要だ。
- 木宮委員長               キャリアも十分あるが、足りない所もある、ということ。ニュースなどの原稿読みは拙い。ダイバーシティというコンセプトが、現時点で体現できているか？まだ物足りない。リスナーの多様性を反映させる事が主たるコンセプトのはずだが、今は彼女の多様性が強く出ている。ニューストピックの選び方も少しもったいない。不思議なチョイスだと感じた。新元号に関して、もう少し本質的なトークが聴きたかった。全体的にチャレンジングで志も高いが、それを3時間に渡って伝えるのは相当大変だ。構成が非常に大切だと感じる。
- 会社サイド               静岡というローカルで、海外情報は必要だろうか、ご意見をお聞かせ頂きたい。
- 角田委員                   国際化には、外に出ていくものと、国内での国際化の2種類あると考える。まずは番組の打ち出す国際化の定義づけをするべき。身近な話題から、国際化の話題を深化できるだろう。
- 加藤委員                   リスナーの多様な意見を並列的に紹介するのがダイバーシティだと考えるが、彼女は自らの意見を強く押し出している。年齢的・世代的な問題かもしれない。リスナーへの向き合い方が今後カギとなるだろう。
- 会社サイド               前回(第350回)では久保の安定感を評価頂く一方、京太郎の立ち位置などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するよういたします。

次回開催日 令和元年6月4日(火) 11:00~13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信